



北海道、東北からは雪の便りも届いておりますが、皆様のところはいかがでしょう。学生たちからは日本語能力試験が目の前に迫り、今年に限ってなんで12月の第一日曜日が1日なの？と嘆く声が聞こえてきそうです。

◆ 初めての「日本語教員試験」終了

学生ばかりでなく、先生方も頑張っておられます。11月17日（日）に「令和6年度日本語教員試験」が実施されました。認定法が施行されて初めての試験実施となりますが、これに合格すれば、晴れて「登録日本語教員」の資格取得となります。

- 試験① 基礎試験 120分 100問
- 試験② 応用試験Ⅰ 聴解 50分 50問
- 応用試験Ⅱ 読解 100分 60問

お近くの先生方でも受験されたという方がいることと思います。会員校の先生方にお声がけしたところ、なかなか手ごわかったようで次のような声が寄せられました。

- ・今回新たに試験範囲に加わった部分から、多く出題されていた印象。具体的には、第二言語習得理論（インプット仮説等）、著作権、評価、テスト分析などから出題されていた。
- ・受験の前に、ある程度準備しておかないと、合格は難しいか。準備していても難しい問題があった。
- ・長時間の試験で、体力的にも大変だった。
- ・日本語教師能力検定試験の過去問題などを見ておいたことが、出題形式に慣れておくという意味でも役立った。
- ・応用試験Ⅰ（読解）は、いわゆる悪問はなかったのではないか。
- ・応用試験Ⅱ（聴解）の問題が難しかった。音声を聞きながら同時にいくつものことを考えて判断する問題。解答を出す前に次の問題の音声が聞こえてくることが多く大変だった。スピードも速く、1回だけなのも負担だった。

運営面でもいくつか課題があったようです。

- ・応用試験Ⅱ（聴解）の音量が小さい会場があった。
- ・応用試験Ⅱ（聴解）の試験に関する指示について、実際には5分間の見直しの時間があったが、「音声が終わった後、すぐに回収」といった説明があるなど実際と食い違いがあり、混乱した。
- ・トイレが混雑し20分の休憩時間に行けない人が続出した会場があった。

文部科学省からも音声の不具合などによる再試験が公表されています。

https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2024/mext_01448.html

次回は混乱なく試験が実施されるよう整えていただきたいものです。文部科学省にぜひとも伝えたいという事例がありましたら、事務局までお知らせください。

◆ 「経験者講習」も並行して実施

日本語教員試験と並行して「登録日本語教員」の資格取得のための「経験者講習」も行われており、すでに講習を全て終えたという先生もいらっしゃるのではないのでしょうか。

こちらの講習について、「勉強になった」「オンデマンドだったので隙間時間を活用するなど、取り組みやすかった」と話す会員校の先生にお会いしました。ベテランであっても、常に前向きに取り組んでおられる姿に感心いたしました。



「経験者講習」については ↓ こちら

https://www.mext.go.jp/a_menu/nihongo_kyoiku/mext_02845.html



試験も講習も日々業務に加えてのこと。

がんばった先生に資格取得の朗報が無事に届くことを心から願っております。



◆ 第 37 回 日本語弁論大会 参加者募集中！

全専日協の一大イベントである日本語弁論大会について 11 月 8 日のメールで皆様に第一報をお伝えしてありますが、今回の第 37 回大会は 2 月 7 日に、東京代々木の文化学園にて開催されます。正会員、連携会員の皆様、**参加申込の締切は 12 月 9 日**です。お忘れなきようご準備をお進めください。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております！！

<第 37 回全国専門学校日本語学習外国人留学生日本語弁論大会>

日時 2025 年 2 月 7 日（金）13:00～16:00

場所 文化学園 文化外国語専門学校 D70 教室

↓ 2023 年 2 月の第 35 回大会の様子（於東京）



↓ 2024 年 2 月の第 36 回大会の様子（於大阪）



初めての参加でちょっと勝手がわからない、という方もいらっしゃるかと思います。お聞きになりたいことがありましたら、いつでも事務局までお問い合わせください。

2024年11月26日
全国専門学校日本語教育協会
ニュースレター担当